

# 北陸支部報

2026/1/16

第25号

## 【第19回 とやまみんなの地図作品展】



「ファボーレ 2F そらの広場（富山市）」（R7年11月22日～24日）

## 目次

年頭のご挨拶	（公社）日本測量協会北陸支部	大西支部長	・・・1
年頭のご挨拶	国土地理院北陸地方測量部	白井部長	・・・2
北陸支部役員会を開催			・・・3
「公共測量講習会（福井会場）」を開催			・・・3
講習会開催状況			・・・4
行事等の報告			・・・6
会員の状況（令和7年12月末現在）			・・・7
令和8年度北陸支部事業計画（案）			・・・7
令和8年度北陸支部「空間情報技術事例発表会」			・・・9



公益社団法人

日本測量協会 北陸支部





## 年頭のご挨拶

(公社) 日本測量協会北陸支部長  
大 西 宏 治

新年明けましておめでとうございます。令和 8 年（2026 年）の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。令和 6 年 1 月の能登半島地震ならびに同年 9 月に発生した奥能登豪雨では甚大な被害が生じました。被災された皆様ならびにご家族の皆様に、改めてお見舞い申し上げます。発生からすでに 2 年が経過しましたが、復旧・復興はいまだ道半ばであり、地形変化の把握やインフラ整備計画において測量技術が必要不可欠であることを改めて痛感しております。今後も皆様と被災地に寄り添った支部活動に努めてまいります。

さて、北陸支部の皆様には、平素から多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年 7 月には「石川県地場産業振興センター」にて北陸支部業務報告会を対面形式で開催いたしました。こうした機会がなければ会員の皆様と直接お会いし、情報を共有する場を持つことができません。多くの皆様にご参加いただき、交流できたことに感謝申し上げます。併せて「空間情報技術事例発表会」を実施することができました。最先端の技術の業務での活用事例が 4 件報告され

ました。点群データやクラウド GIS が災害復旧の現場でどのように活用されているのかを具体的に知ることができ、大変有意義な内容でした。測量技術は大きな進化を遂げています。UAV による測量、3D レーザースキャナーによる高精度計測、AI を活用した自動解析、クラウド GIS によるデータ共有、さらにはデジタルツインによる都市・インフラの仮想再現など、大きな進化を遂げています。こうした次世代技術を確実にキャッチアップするためにも技術事例発表会の開催がますます重要だと実感しました。

本年の業務報告会および空間情報技術事例発表会は福井県国際交流会館にて開催する予定です。北陸 4 県の会員の皆様からの積極的なご発表、ご参加を心より期待しております。

最後になりましたが、日本測量協会および北陸支部のさらなる発展と、会員皆様方のご健勝とご活躍、そして会員みなさまのご家族の皆様のご多幸を祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。

富山大学学術研究部 人文科学系  
教授 大西宏治

## 年頭のご挨拶

北陸地方測量部長  
白 井 宏 樹

令和8年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

公益社団法人日本測量協会北陸支部ならびに会員の皆様には、日頃から国土地理院の業務にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

近年、頻発化・激甚化する自然災害への対応力の強化、防災・減災、国土強靱化の着実な推進等により、県民の生命・財産・暮らしを守り抜くには、防災デジタルプラットフォームやデータ連携基盤の構築・活用など、デジタル技術の徹底的な活用が必要であり、測量設計業界を取り巻く環境も大きく変化しています。

i-Construction 及びDX（デジタル・トランスフォーメーション）に対応した新技術への取組、働き方改革の推進による労働環境の改善、深刻な担い手不足への対応など、多くの課題にも直面しているものと考えております。

国土地理院では、国土を「測る」、「描く」、「守る」、「伝える」の4つの役割を通

じて、共通の情報基盤として、デジタル公共インフラである国土情報基盤を着実に整備・更新・維持管理し、正確性・最新性を確保するための取組を重点的に進めてまいります。

特に、電子国土基本図の三次元化やレーザ測量による高精度標高データの整備を進めているところであります。これにより、土木設計、都市計画、防災シミュレーションなど、従来の平面から立体になり、詳細かつ多角的な分析が可能となっていくます。

貴協会の皆様には、引き続き測量設計の仕事を通して、地域の社会資本整備をはじめ、安全・安心な生活環境基盤の形成に貢献されることを期待しております。

最後になりますが、引き続き、貴協会の皆様にはご支援・ご協力をお願いするとともに、貴協会の益々のご発展と会員皆様のご多幸とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





## 北陸支部役員会を開催

12月8日（月）にオンラインで北陸支部役員会を開催しました。この役員会は、北陸支部の今年度事業の中間報告及び次年度の事業計画（案）の概要について役員の皆さんに報告し、意見を伺うものです。

11月までの講習会を見ますと、今年度の計画人員に対する受講者数は予定していた計画人員より減少傾向となっています。これは昨年1月の能登半島地震、昨年9月の石川県能登地方での集中豪雨による災害発生、これらによる災害復旧対応等のために測量関係業務が多忙となり、講習会等の受講者が予定していた計画人員より減少傾向となったと考えられます。

北陸支部の会員状況は、令和7年11月末現在、正会員、準会員、特別会員の総数が697名となっています。令和7年3月末と比較すると3名の減少でした。講習会への参加人数が減少したことから講習会受講時の会員への同時入会の方が少なかったためです。今後も入会していただく方が増えるように一層PR等を行ってい

きます。

次年度事業計画（案）の支部主催講習会については、今年度より1コース増の15コースを予定しています。令和7年度の実務者向けセミナーは、令和8年2月に東京と大阪の2会場で実施されますので、セミナーを収録したビデオ講習会を2回実施する計画としています。各講習会の開催地については、新潟市、富山市、金沢市、福井市に分散して実施します。

3月実施予定の「測量士、測量士補答案練習セミナー」は富山市での開催になります。

業務報告会は、福井市の福井県国際交流会館で7月14日（火）の開催を予定しています。業務報告会終了後、同会場で引き続き空間情報技術事例発表会も開催します。発表会は数多くの方に視聴して頂くために、来年度も会場での対面による視聴とオンラインによる視聴が出来るように計画したいと考えています。

## 「公共測量講習会（福井会場）」を開催

北陸支部技術センターでは、11月20日（木）に福井県国際交流会館（福井市）において、近畿地方整備局、国土地理院北陸地方測量部、福井県の後援をいただき、測量計画機関（国、地方公共団体等発注者）の職員を対象に、公共測量の理解促進の一助となり、公共測量成果の品質確保と行政の円滑な推進に役立てていただくため「公共測量講習会（福井会場）」を開催しました。

講習会では日本測量協会測量技術セン

ター所長の挨拶があり、国土地理院北陸地方測量部から北陸地方測量部長の講演と公共測量担当者からの測量法と公共測量の手続きについての説明。

当協会からは公共測量で実施する基準点測量、数値地形図作成における新技術の活用、公共測量成果の品質確保について説明を行いました。

測量計画機関の担当者の方々にこのような機会を通じて公共測量への理解が深まることが期待されています。

## 講習会開催状況（令和7年度開催分）

開催日	講習会名	会場	受講者数
<b>【支部主催】</b>			
4月18日	測量数学・誤差学の基礎(Web講習)	富山市(富山県教育文化会館)	7名
5月15日 ～16日	UAV取得データを用いた写真測量と地形図作成	富山市(富山県教育文化会館)	20名
6月5日	ネットワーク型RTK法による基準点測量	富山市(富山県教育文化会館)	25名
7月17日	UAVを用いた空中写真測量	金沢市(石川県地場産業振興センター)	7名
7月31日	GNSSによる基準点測量	金沢市(石川県地場産業振興センター)	18名
8月21日	3D地形点群モデル解析基礎技術	富山市(富山県教育文化会館)	5名
10月14日	UAV取得データを用いた災害地の計測と調査	新潟市(新潟ユニゾンプラザ)	3名
11月13日	TSによる3・4級基準点測量	新潟市(新潟ユニゾンプラザ)	5名
11月26日	三次元点群測量(Web講習)	新潟市(新潟ユニゾンプラザ)	13名
12月4日	測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー	新潟市(新潟ユニゾンプラザ)	21名
12月9日	実務者向けセミナー(ビデオ講習会) ～三次元計測技術の活用～	金沢市(石川県地場産業振興センター)	7名
12月16日	電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びGNSS標高測量	福井市(福井県国際交流会館)	8名
3月2日 ～6日	測量士答案練習セミナー(Web講習)	新潟市(新潟ユニゾンプラザ)	開催予定
3月16日 ～19日	測量士補答案練習セミナー(Web講習)	新潟市(新潟ユニゾンプラザ)	開催予定
<b>【本部主催】</b>			
5月20日 ～23日	路線測量設計課程Iコース(Web講習)	富山市(測量会館)	8名
7月22日 ～25日	基準点測量A課程 測量平均コース(Web講習)	富山市(測量会館)	2名
9月1日 ～6日	基準点測量A課程 測地論コース(Web講習)	富山市(測量会館)	2名

10月6日 ～10日	路線測量設計課程Ⅱコース（Web講習）	富山市（測量会館）	0名
10月21日 ～27日	基準点測量B課程 基準点測量コース （実習なし）	富山市（測量会館）	TS 11名 GNSS 10名

### ○「三次元点群測量（Web講習）」

11月26日に新潟市の「新潟ユニゾンプラザ」において「三次元点群測量」Web講習会を開催しました。

「作業規程の準則」に求められる測量成果を得るためには、各種三次元点群測量の基礎理論の十分な理解が求められます。

本講習会は、様々な計測機器を用いて取得した点群データを実例として紹介しながら、「作業規程の準則」をより深く理解していただけることを目的として開催します。



### ○「測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」



12月4日に新潟市の「新潟ユニゾンプラザ」において「測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」を会員無料で開催しました。

このセミナーでは、広く測量・地理空間情報界で活躍されている多くの技術者の方々に向け、最新の技術動向、技術力を生かすスキル、CPDポイントの活用方法、測量成果の品質管理等について紹介いたします。

なお、本セミナーは新潟県測量設計業協会との共催です。

### ○「実務者向けセミナー（ビデオ講習会）」

12月9日に金沢市の「石川県地場産業振興センター」において「実務者向けセミナー ～三次元計測技術の活用～」を会員無料で開催しました。

東京で令和7年2月6日に開催されたセミナーを収録した動画記録（ビデオ）を視聴するビデオ講習会として、石川県測量設計業協会との共催による開催です。





## ○「電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びGNSS標高測量」



12月16日に福井市の「福井県国際交流会館」において「電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びGNSS標高測量」講習会を開催しました。

本講習内容は、GNSS測量の概要や「電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びGNSS標高測量」に関連する『作業規程の準則』の条項解説のほか、作業計画から始まる一連の作業工程における留意点なども説明いたします。

## 行事等の報告

### ○とやまみんなの地図作品展を開催

とやま地図作品研究会(日本測量協会北陸支部：事務局)では、11月22日(土)から24日(月・振替休日)まで富山市のフューチャーシティ「ファボーレ」において「第19回とやまみんなの地図作品展」を開催しました。

この作品展は、富山県内の小中学生を対象として、身のまわりの環境や地域の姿を自ら観察・調査し、それらを地図として表現することにより、環境や地図さらには地域に対する関心を深めてもらうことを目的として地図作品の募集を行い、9月末までに応募があった、小学生10作品、中学生1作品を優秀地図作品として各賞ごとに展示しました。

表彰式は、展示会初日の11月22日にフューチャーシティ1階「ファボーレホール」で行われました。

最優秀作品の「とやま地図作品研究会長賞」には、小学生の部からは富山市立山室中部小学校6年生 荒川 雄紀さんの作品が

選出されました。荒川さんの作品は、茨城県つくば市にある国土地理院「地図と測量の科学館」にて1月に開催される「第29回全国児童生徒地図優秀作品展」に出展され、文部科学大臣賞及び国土交通大臣賞の候補作品として推薦されました。

また、中学生の部「とやま地図作品研究会長賞」の富山市立興南中学校2年生 黒田 湊右さんの作品他5作品についても「第29回全国児童生徒地図優秀作品展」へ出展されました。



### 会員の状況（令和7年12月末現在）

区 分	7.3 末	7.12 末	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正 会 員	5 3 1	5 2 0	-11	221 (-11)	103 (+2)	141 (-1)	55 (-1)
準 会 員	0	0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
特別会員	1 6 9	1 7 1	+2	80 (0)	38 (+1)	33 (+1)	20 (0)
合 計	7 0 0	6 9 1	-9	301 (-11)	141 (+3)	174 (0)	75 (-1)

### 令和8年度北陸支部事業計画（案）

北 陸 支 部 主 催 講 習 会	場 所	時 期（期間）
測量数学・誤差学の基礎（Web 講習）	新潟市	4 月 （1 日間）
U A V 取得データを用いた写真測量と地形図作成	金沢市	5 月 （2 日間）
ネットワーク型 R T K 法による基準点測量	新潟市	5 月 （1 日間）
U A V を用いた空中写真測量	新潟市	7 月 （1 日間）
G N S S による基準点測量	富山市	8 月 （1 日間）
3 D 地形点群モデル解析基礎技術	金沢市	9 月 （1 日間）
実務者向けセミナー（ビデオ講習会） ～現場で生きる三次元計測技術と活用事例～	新潟市	9 月 （1 日間）
測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー	金沢市	9 月 （1 日間）
U A V 取得データを用いた災害地の計測と調査	富山市	1 0 月 （1 日間）
三次元点群測量（Web 講習）	富山市	1 1 月 （1 日間）



T Sによる3・4級基準点測量	福井市	11月 (1日間)
実務者向けセミナー（ビデオ講習会） ～進化する三次元計測と解析技術～	富山市	12月 (1日間)
電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びGNSS標高測量	金沢市	12月 (1日間)
測量士答案練習セミナー（Web講習）	富山市	3月 (5日間)
測量士補答案練習セミナー（Web講習）	富山市	3月 (4日間)
本 部 主 催 講 習 会	場 所	時 期（期間）
基準点測量（2級）B課程 水準測量コース（実習あり）	新潟市	6月 (5日間)
基準点測量（1級）A課程 基準点測量コース（Web講習）	富山市	6月 (7日間)
防災調査課程Ⅰコース（リアルタイム配信）	富山市	7月 (5日間)
基準点測量（1級）A課程 測地論コース（Web講習）	富山市	8月 (6日間)
防災調査課程Ⅱコース（リアルタイム配信）	富山市	11月 (4日間)

※ 講習会等については、場所あるいは時期等が変更になる場合があります。

1. 北陸支部報
8月及び1月に本部ホームページへの掲載による刊行を行う。
2. 北陸支部通信
会員への情報伝達手段として、メルマガ「北陸支部通信」を月1回配信する。
3. ホームページ（測量情報館）のWebサイト「支部からのお知らせ」
会員への情報伝達手段として本部ホームページ内にある「支部からのお知らせ」欄を充実させ、活用を図っていく。

## 令和8年度 北陸支部「空間情報技術事例発表会」

日本測量協会北陸支部では、北陸支部管内（新潟県、富山県、石川県、福井県）の空間情報（地理空間情報及び測量を含む。）技術者が、業務上の経験や研究成果、日頃感じている技術上の問題点について発表することによって、技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報共有を図って行くことを目的として、令和8年度も「空間情報技術事例発表会」を開催します。

技術者、学生の皆さんの積極的なご応募をお願いします。

### 応募概要

#### 1. 募集内容

発表者自身の業務上の体験及び研究成果や日頃感じている問題点等の空間情報（地理空間情報及び測量を含む。）に関係した内容とする。

#### 2. 応募対象者

北陸支部管内の空間情報技術者又は空間情報関係の学生等で、概ね40才未満の者とする。

#### 3. 発表時間

一課題の発表は、質疑応答を含め20分以内とする（発表15分、質疑5分）

#### 4. 発表日時及び場所

日時：令和8年7月14日（火）15：00～（予定）

（北陸支部業務報告会に引き続き開催）

場所：福井県国際交流会館（福井市）

#### 5. 応募

- (1) 発表希望者は、3月末までに北陸支部事務局に所属、氏名、年齢、発表名を申し出る。
- (2) その後、発表の決定を受けた者は、5月末までに発表する内容の概要（要点：200～300文字）を北陸支部事務局に提出する。
- (3) 発表当日の資料（別途標準様式により作成）は、事前（10日前まで）に北陸支部事務局にメールで提出する。

#### 6. 表彰

審査の結果、優れた発表者に対しては、賞状及び副賞を授与する。

なお、発表者全員に記念品を贈呈する。

《問合せ・応募先》 公益社団法人日本測量協会 北陸支部  
〒939-8094 富山市大泉本町1-12-14 測量会館  
TEL 076-422-3305 FAX 076-422-3403  
E-mail [kojima-y@jsurvey.jp](mailto:kojima-y@jsurvey.jp) 担当 小嶋



昨年中は何かとお世話になり、有り難うございました  
今年もよろしく願います  
会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

公益社団法人  
日本測量協会北陸支部  
職員一同





E-mail    [hokuriku-geo@jsurvey.jp](mailto:hokuriku-geo@jsurvey.jp)